

# 特記仕様書

箕輪町 建設課

## 1 業務名（場所）

令和7年度 町単独測量設計業務委託 （町道8号線 箕輪町木下）

## 2 総 則

本業務は町道8号線の交差点改良工事にかかる測量設計業務委託である。

本特記仕様書、公共測量作業規定、長野県公共測量作業規定のほか長野県公式ホームページにある共通仕様書を基準書とする。

本工事遂行を目的とする測量設計を実施されたい。

交差点改良工 L=140m

## 3 履行期間

履行期間は令和7年11月28日までとし、地元区、隣接地権者、他関係機関との打合せ・協議をしながら作業を実施するので予め承知のこと。期日までに納品のうえ監督員等の検査を受けること。

但し、現地調査等やその他の理由により日数を要する場合は、監督員との協議により履行期間の延長を可とする。

詳細事項については、打合せ時に説明予定である。

## 4 調査対象地域

調査対象地域は、別図のとおりである。

## 5 業務内容

業務内容は以下のとおりである。なお、作業実施前に必ず業務計画書を提出されたい。（提出前の作業開始はいかなる理由があっても認めない）

「測量業務」

（1）3級・4級基準点測量

（2）作業計画

作業計画は、路線測量に必要な状況を把握し、路線測量の細分ごと作成する。（作業内容の把握、資料の収集、作業方法、作業工程、作業班編成、使用機器、安全管理）

（3）現地踏査

測量箇所について、作業前に現地を確認する作業である。測量支障物件、付近の現況等について確認を行うこと。必要に応じて現地随行のうえ説明します。

（4）現地測量

施工予定地について、縮尺1/500の平面図を作成する。

測量箇所については、打合せの上場所を決定するので留意こと。

（5）中心線測量

主要点及び中心点を現地に設置し、線形地形図を作成する。

（6）仮BM設置測量

縦断測量及び横断測量に必要な水準点を現地に設置する。

（7）縦断測量

中心杭等の標高を定め、縦断面図を作成する。測点間隔は20mを基本とするが、変化点についても追加のうえ測量すること。

(8) 横断測量

中心杭等を基準にして地形の変化点等の距離及び地盤高を定め、横断面図を作成する。測量幅員は概ね 60m、測点間隔は 20mを基本とするが、変化点についても追加のうえ測量すること。既設構造物の位置・高さ・幅等には特に注意すること。

(9) 打合せ協議

打合せ協議は、業務着手時 1 回、中間打合せ 1 回、成果品納入時 1 回の計 3 回を基本とするが、必要に応じて適宜実施するものとする。実施後は速やかに打合せ記録簿を作成し、承認を得ること。原則として打合せ回数は設計変更の対象としない

「道路予備設計（B）業務」

同時発注の路線測量結果に基づき、設計を実施するものとする。経済性・施工性等を十分比較検討し、工法決定をすること。

(1) 設計計画

業務概要、実施方針、業務工程、組織計画、打合せ計画等を記載した業務計画書を作成する。

(2) 現地踏査

設計に必要な現地状況を把握するために、現地踏査を行う。現地踏査に当たっては、現地での交差道路、用排水系統等の現地状況の確認、構造物の位置等の基本的事項の把握を行うものとする。なお、現地調査（測量、地質調査、交通量調査）を必要とする場合は、受注者はその理由を明らかにし、調査事項について監督員に報告し、指示を受けるものとする。

(3) 縦断設計

既存資料及び現地踏査に基づいて、平面線形との組み合わせ、橋梁、トンネル等の主要構造物の位置、形式、基本寸法を考慮のうえ縦断線形を設計するものとする。

(4) 横断設計

実測横断図を用い、地質調査結果に基づき土層線を想定し法面勾配と構造を決定し、道路の横断構成、側道、水路等を設計するものとする。

(5) 道路付帯構造物設計

一般構造物〔擁壁（小構造物を除く）、函渠、特殊法面保護工、落石防護工等をいう。〕及び、管渠（応力計算が必要なもの）、溝橋、大型用排水路（幅 2 m または高さ 1.5 m を超えるもの）、地下道、取付道路（延長 10 m 以上）、側道、階段工（高さ 3 m 以上）等について、設計図書に基づき現場条件、設計条件に合致するよう設計するものとする。

(6) 小構造物設計

前項に定める以外で原則として応力計算を必要とせず道路構造物標準図集等から設計できるもので、石積またはブロック積擁壁、コンクリート擁壁（高さ 2 m 未満）、管渠、側溝、街渠、法面保護工、小型用排水路（幅 2 m 以下かつ高さ 1.5 m 以下）、集水桝、防護柵工、取付道路（延長 10 m 未満）、階段工（高さ 3 m 未満）等の位置、形式、基本寸法等を決定するものとする。

(7) 用排水設計

既存資料及び現地踏査の結果に基づいて用排水系統の計画、流量計算を行い、用排水構造物を設計する。特に現地における既設の関連用排水現況、将来計画等を十分把握して適切な設計を行うものとする。使用する用排水構造物は、下水道設計標準図を参照するものとする。

(8) 設計図

実測図（平面・縦断・横断図面）を基に、平面図、縦断図、標準横断図、横断図、詳細図

を作成する。各種撤去取壊図含む。

(9) 関係機関との協議資料作成

協議資料作成について、地元区・沿線地権者等、関係機関との協議用資料・説明用資料を作成するものとする。

(10) 用地幅杭計画

縦断・横断・道路付帯構造物・小構造物及び用排水設計に基づき用地幅杭位置を求めるものとする。

(11) 概算工事費

比較案それぞれに対し設計業務の成果に基づき概算工事費を算定するものとする。なお、概算用地補償費の算定もあわせて行うものとする。

(12) 照査

現地状況・基礎情報の収集等の確認、地形・地質等が設計に反映されているかの照査、設計方針・設計手法・設計図・概算工事費の適切性・整合性の照査等を行う。

(13) 報告書作成

設計業務成果概要書等のとりまとめを行う。

「平面交差点予備設計業務」

平面交差点予備設計は、道路予備設計で検討された平面図及び縦横断図を用いて、設計図書に基づいた設計条件で、交差点形状について、決定することを目的とする。

(1) 設計計画

業務概要、実施方針、業務工程、組織計画、打合せ計画等を記載した業務計画書を作成する。

(2) 現地踏査

設計図書に基づいた設計範囲における現道状況、現況現示、用排水路及び系統、沿道状況等の把握、確認を行う。なお、現地調査（測量、地質調査等）を必要とする場合、受注者はその理由を明らかにし調査内容について監督員に報告し指示を受けるものとする。

(3) 平面・縦断設計

受注者は、交差点形状について、交差点間隔、平面交差点付近の線形（視距、曲線半径、縦断線形等）など、主に幾何構造上について検討を行うものとする。

(4) 横断設計

横断設計について、20m毎を標準として道路設計条件によって、標準部、右・左折部、変速車線部の設計を行うものとする。

(5) 交差点容量・路面表示

交差点容量について、設計図書に基づき与えられた交通量（時間別・方向別）に対し、最適現示及び飽和度を計算する。また路面表示については変速車線部、右・左折部の矢印、横断歩道、停止線、車両の軌跡等の検討を行うものとする。

(6) 設計図

実測図（平面・縦断・横断図面）を基に、平面図、縦断図、標準横断図、横断図、詳細図を作成する。各種撤去取壊図含む。

(7) 関係機関との協議資料作成

協議資料作成について、地元区・沿線地権者等、関係機関との協議用資料・説明用資料を作成するものとする。

(8) 数量計算

決定した設計に対して、数量算出要領に基づき、各工種毎に数量を算出する。

(9) 概算工事費

比較案それぞれに対し設計業務の成果に基づき概算工事費を算定するものとする。なお、

概算用地補償費の算定もあわせて行うものとする。

(10) 照査

現地状況・基礎情報の収集等の確認、地形・地質等が設計に反映されているかの照査、設計方針・設計手法・設計図・概算工事費の適切性・整合性の照査等を行う。

(11) 報告書作成

設計業務成果概要書等のとりまとめを行う。

(12) 打合せ協議

打合せ協議は、業務着手時1回、中間打合せ1回、成果品納入時1回の計3回を基本とするが、必要に応じて適宜実施するものとする。実施後は速やかに打合せ記録簿を作成し、承認を得ること。原則として打合せ回数は設計変更の対象としない

## 6 留意事項

本業務実施にあたり、関係地権者及び地元区へ測量実施の通知を配布するので、実施時期について協議を行うこと。民地へ立ち入る場合で、所有者等が居る場合は必ず声をかけ身分を明示するとともに名札等を必ず着用すること。

## 7 照 査

成果品提出時前に照査業務として、社内でチェックを行い、ミス等のないようにすること。照査報告書（確認内容を含）は、成果品に添付すること。

各測量成果については、公共測量作業規程等に基づき精度管理を行うこと。

## 8 提出書類

提出書類は次のとおりとする。但し、監督員等との協議により不要とする書類もあるので留意されたい。

(1) 契約時提出書類

名 称	部 数	規格	備 考
契約書	2 部	A 4	電子契約の場合は電子データ
着手届	1 部	A 4	
主任技術者 通知 担当技術者 通知	1 部	A 4	
同 経歴書	1 部	A 4	
同 資格証、健康保険被保険者証の 写し	各 1 部	A 4	
業務（作業）計画表	1 部	A 4	

(2) 業務中提出書類

名 称	部 数	規格	備 考
業務（作業）計画書	1 部	A 4	
業務工程表	1 部	A 4	出来高報告
管理体制及び連絡体制	1 部	A 4	
貸与品等借用書	1 部	A 4	
打合せ記録簿	1 部	A 4	

(3) 完了時提出書類

名 称	部 数	規格	備 考
完了届	1 部	A 4	
成果品 ※1 CD-R (1 枚で可)	2 部	A 4	A 4 規格ファイルにて納品 図面は折込 ※1は、成果品格納ファイル 2 部のうち 1 部提出でよい
※1 業務工程表	1 部	A 4	
※1 業務日報 (実施状況記録)	1 部	A 4	
※1 打合せ記録簿	1 部	A 4	
請求書	1 部	A 4	

※ その他詳細については、打合せ時に協議のこと。

保存媒体には全ての写真、文書、数量表はマイクロソフト エクセルデータ、CAD  
データ (SXF) 及びPDF変換データ (A 3 版規格に変換) 等を保存して提出のこと。  
(一般のパソコンで容易に作業できるものとする)

「長野県設計業務委託共通仕様書 設計業務委託に係る様式 (最新版)」を準用のこと